

## 令和4年度 新上五島町行財政改革推進委員会議事録

日時 令和4年10月19日(水) 13:26～14:58

場所 新上五島町役場 3階F会議室

### 出席者

#### ○行財政改革推進委員会委員

荒木会長、大坪委員、岡元委員、加藤委員、北口委員、田本委員、道津委員、永田委員、本村委員、森下委員

#### ○新上五島町

浦田副町長、吉田政策企画担当理事、近藤総務課長、白浜財政課長、窄口総合政策課長ほか関係課長

### 次第

#### 1 副町長挨拶

#### 2 議事

##### (1) 新上五島町行財政改革推進プランの取組状況について

### 開会

#### 【事務局】

ただ今から令和4年度新上五島町行財政改革推進委員会を開催いたします。この委員会は11名の方に委員にご就任いただいておりますが、新たに、岡元はづき委員、加藤和三委員、北口実男委員、田本佳史委員に今回ご就任いただいておりますのでご紹介いたします。

なお、本日は柴田久直委員が都合により欠席されております。

まず、配布資料の確認をさせていただきたいと思います。

本日の資料は、次第、委員名簿、配席表、新上五島町行財政改革推進プラン（令和3年度～令和6年度）、行財政改革推進条例となっております。

不足している資料があればお知らせください。

それでは、開会にあたり副町長がご挨拶いたします。

(副町長挨拶)

ここからの進行は議長として、会長にお願いいたします。

#### 【会長】

それでは、議事に入ります。新上五島町行財政改革推進プランの計画期間は令和3年度から令和6年度までとなっておりますが、この期間の取組内容や実績などについて、審議いたします。事務局から説明をお願いします。なお、質疑は説明後に行いたいと思います。

#### 【事務局】

新上五島町行財政改革推進プラン（令和3年度進捗状況）の説明

【会長】

新上五島町行財政改革推進プランの取組状況について質疑を行います。ただいまの説明について、質問、意見などはありませんか。

【委員】

「5 町単独補助金の選択と集中」について、補助金の決算額が約1億円の増加し評価Cとなっているが、増加の要因は何か。

【事務局】

決算額のとおり9,400万円程度、町の単独補助金が増えている。全体の補助金額は令和2年度が134億円、令和3年度が64.67億円105件の29件減少、両年度を比較すると3.78億円程度減少。計画と比較すると増加となるが前年度実績と比較すると減少。コロナの影響によるものが主な要因である。

【委員】

「22 人材育成基本方針の推進」について、職場研修の実施方法とその教養効果の測定はしているのか。アンケートを行っているのであればその効果を数値で示すことはできるのではないか。

【事務局】

人材育成のための職場研修は外部講師による研修を本庁舎で実施。研修終了後にアンケートを取ってはいるが職場で活かすことができたかの把握までは現在は行っていない。

効果額に対して評価することになっているが、効果額が無くても評価できるものについては今後検討させていただく。

【委員】

「3 内部管理経費等の削減」について、今年度の電気代は10%~15%程度上げていくと思われる。令和4年度の公共施設電力料金の予想は。

【事務局】

令和4年度は公共施設の高圧の契約について9月補正で4,200万円ほど増額をしている。全体で831契約のうち40施設が高圧の契約、232施設を入札により単価契約としており、令和4年度の見込みは約1億1,400万円であるが、燃油高の影響で12月に補正予算を計上することになると令和4年度の効果額は計上できない可能性がある。

【委員】

「3 内部管理経費等の削減」について、電気料金は変動するため効率化のために電気使用量を削減することが大事ではないか。

【事務局】

電気の使用量の削減のために勤務時間外は執務室の電気を消し、エアコンの温度設定を統一するなど節電を行っている。

【委員】

古い施設や効率の悪い施設を更新するなど収支のバランスを見ながら進めていただきたい。

「4 情報システムの標準化・共同化の検討」について、これまでの取組でコロナ感染症の影響で意見交換会等が実施できなかったとあるが、やる気になればオンラインで会議ができたのではないかと。

【事務局】

コロナの影響で昨年度は県への出張も減りテレビ会議が主になっている。町でもオンラインでの会議に対応できるよう施設整備を行っている。

【委員】

「10 水道事業の経営健全化」について、全国的に給水管の老朽化が進んでいるが、本町の現況はどうか。

【事務局】

水道管の耐用年数は40年であり、現在の改良率は約12%、今後の老朽化防止や漏水調査を進めながら有収率の向上に努めたい。

【委員】

「39 情報公開の推進」について、以前この委員会で議会の中継について質問し、視察を行うとの説明を受けたがその後の状況は。地域に情報発信を行い町政にもっと町民の皆さまが関心を持っていただけたらと思っている。

【事務局】

議会中継については、コロナ禍前に協議を行い、議員の皆さまが先進地視察に行く予定までは立てていたが、コロナの感染拡大で視察に行けてない。先日、議会で話が出ており今後検討されると思われる。

【委員】

「20 遊休町有財産の処分と有効活用」について、遊休町有財産は土地だけなのか。また有効活用という観点での考えはないか。

【事務局】

分譲地は回覧や広報誌に掲載し、遊休地はホームページで募集をかけて周知している。建物は使用用途を終えたものについて遊休公共施設として地域の活性化や雇用に繋がるものとして募集し、審査の後に貸し付けているものもある。現在、貸し付け予定の遊休公共施設はない。

【委員】

「9 公共交通体系の見直し」について、Smart-GOTO 事業がスタートしているが、運行経費の削減の見込みは。

【事務局】

Smart-GOTO 事業については、津和崎：令和 3 年 7 月から、若松島：10 月から、飯ノ瀬戸：令和 4 年 2 月から、桐：8 月から随時始まっている。路線バスの損失補填は約 7,000 万円、Smart-GOTO 運行経費を単純に差し引くと約 3,500 万円の効果額となる見込み。令和 3 年度は令和 2 年度分の損失補償と Smart-GOTO 運行経費の両方の支出があり歳出効果額は計上できていない。

【委員】

財政分析指標については合併当時と比較すると改善されていることがよく良くわかる。

「26 公共施設等総合管理計画の推進」があるが、先日、奈良尾小中学校の統廃合に関する説明会が開催されたが、今後どのように考えられているか。財政の健全化、子供の教育などいろいろな問題が関係すると考える。

【事務局】

奈良尾小中学校の統廃合について説明に伺った経緯は、適正化配置計画に基づいて奈良尾地区が統廃合の優先的な対象校になっていること、奈良尾中学校の保護者から統廃合を進めて頂きたいとの要望書が提出されていた。説明会では保護者から統廃合を進めてほしいという意見や住民の方からは地域の活性化が無くなるということで反対意見もあった。今後、保護者への説明、地域の郷長や駐在員さん、地域の方にご意見を伺いながら進めていく流れになっている。方針としては統廃合を進めるという計画に基づいてお話をしている状況である。

【委員】

「30 組織機構の見直し」について環境問題は重要な課題である。本町の組織機構改革で環境課をなぜ令和元年に環境班に格下げしたのか。環境課についてどのような考えがあったのかお尋ねしたい。

【事務局】

環境課だけではなく、課をまとめる形で規模を大きくしながら仕事をやってきている経過がある。来年度に向けて組織機構も検討中であり全体のバランスを見ながら考える。

【委員】

「31 定員管理の適正化と多様な人材の活用」について、退職者を再雇用することで若い人は仕事がやりにくくないのか。若い人が働きやすい環境にするために、どのような配慮をしているのか。

【事務局】

退職者の再任用制度ですが、年金をもらえるようになるまで主査の役職で雇用している。主査は通常の一般事務をすることになり、年齢が上のため若い人が使いにくいということは実際あるだろうが、専門的な仕事を任せており現状では問題なく雇用できている。

【委員】

「3 内部管理経費等の削減」について、電力の使用量も記載していただくとわかりやすい。見える化という意味でも納得の得られやすい統計であると考える。

【事務局】

電力量の集計については内部で検討する。

【委員】

「23 民間委託の推進・見直し」観光物産振興事業について、歳出効果額は補助金が令和元年度を下回った時に計上とあるが、令和3年度は上回ったという理解で良いのか。また、補助金が上回った場合にマイナスで出さないのはなぜか。売上が2倍だから評価をAとする考えは短絡的のように感じる。

【事務局】

令和3年度の決算額は23,294千円であり、約369万円増加している状況。他の項目ではマイナス計上を行っている項目もある。マイナス計上するかどうかを含め検討させていただく。

【会長】

それでは、以上で本日の委員会を終了いたします。長時間のご審議お疲れさまでした。